職業実践専門課程の要件及び取組状況等確認シート

|  |
| --- |
| * 本調査は、以下の認定学科のみが対象となります。ご注意ください。   + 平成28年度の全認定学科（平成29年文部科学省告示第22号にて認定された専門課程）   + 平成25年度認定学科（平成26年文部科学省告示第59号にて認定された専門課程）のうち文化・教養分野の学科 |

# 学科の基礎的情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学校名 | 設置認可年月日 | 設置者名 | 所在地 |
| ○○専門学校 | 平成〇年〇月〇日 | 学校法人○○学園 | 東京都千代田区霞が関３－２－２ |
| 分野 | 認定課程名 | 認定学科名 | 認定年月日 |
|  | ○○専門課程 | ○○科 | 平成○年○月○日 |

# 自己点検チェック項目

|  |
| --- |
| * 特に指定がない項目については、最新の「別紙様式4」作成時点の状況についてご回答ください。また、「別紙様式4」上の記載との整合性を確認してください。 * 学校での自己点検結果を○（当該項目を満たせている）、×（当該項目を満たせていない）を記入してください。 * ×（当該項目を満たせていない）場合は、今後の対応方針を必ず記入してください。 * 表の枠は書きやすいように適宜幅を変更等してください。 |

※凡例：●告示、実施要項で定められた認定要件

| **自己点検項目** | **自己点検結果**  **※○×を記入** | **×の場合は必ず**  **対応方針記入** |
| --- | --- | --- |
| 修業年限等 |  |  |
| ●修業年限が２年以上である。 |  |  |
| 学校名は学則に記載されている名称となっている。 |  |  |
| 課程名は学則に記載されている名称となっている。 |  |  |
| 学科名は学則に記載されている名称となっている。 |  |  |
| 学則に記載されている昼間・夜間別と合致している。 |  |  |
| 学則又は学則の別表等の文書で、認定学科の教育課程について定めている（コースを設けている場合は、コースの教育課程についても定めている）。  *※コースを設けているにもかかわらず、コースの教育課程に係る定めがない場合は、×を記入すること。* |  |  |
| 教育課程の編成：専攻分野に関する企業、団体等との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること | | |
| ●企業等との連携体制を確保して、当該専修学校専門課程の教育課程の編成を行うため、当該専修学校専門課程の教職員及び企業等の役員又は職員その他必要な委員により組織される委員会や会議（以下「教育課程編成委員会等」という。）を設置している。 |  |  |
| ●昨年度、教育課程編成委員会等を少なくとも年２回以上開催した。  *※新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年度開催予定だった会議を延期している場合、自己点検結果に○を記入の上、必ず対応方針記入欄に、当初の開催日程及び延期予定について記載すること。延期した会議を開催済みの場合は、その会議の議事録も提出すること。*  *※委員が参集せずに書面のみで開催する場合の扱いは文部科学省「「職業実践専門課程」に関する主な質問に対する基本的考え方」Ｑ9.を参照。* |  | 新型コロナウイルス感染症対策のため、当初令和元年度開催予定だった会議を延期している場合、本欄に以下事項を記入すること。  ※延期分について、開催済みの場合はその議事録も提出すること。  【当初の開催予定及び延期日程】  第1回：令和元年●月●日※開催済み  第2回：令和元年●月●日※新型コロナウイルス感染症対策のため●年●月に延期予定、又は、開催済み |
| ●教育課程編成委員会等の意見を活用して、教育課程の編成を行っている。 |  |  |
| 昨年度に開催された全ての教育課程編成委員会等において、企業等の役員又は職員の委員（全員又は一部）の出席があった。  *※代理出席の場合は、出席があったものとして含め、書面等による意見提出のみの場合は含めない。*  *※1回でも企業等の役員又は職員の委員（又は代理出席者）が出席しない会議があった場合は、×を記入すること。*  *※新型コロナウイルス感染症対策のために、当初昨年度開催予定だった会議を今年度へ延期し、かつ、すでに実施した場合、その会議についても本項目を判断すること。* |  |  |
| 昨年度に開催された全ての教育課程編成委員会等について、議事録を作成した。  *※全ての教育課程編成委員会等について議事録が作成されていない場合は×を記入。*  *※新型コロナウイルス感染症対策のために、当初昨年度開催予定だった会議を今年度へ延期し、かつ、すでに実施した場合、その会議についても本項目を判断すること。* |  |  |
| 昨年度に開催された全ての教育課程編成委員会等について、議事録に発言者を明記した。  *※全ての教育課程編成委員会等について議事録に発言者が明記されていない場合は×を記入。*  *※新型コロナウイルス感染症対策のために、当初昨年度開催予定だった会議を今年度へ延期し、かつ、すでに実施した場合、その会議についても本項目を判断すること。* |  |  |
| 昨年度に開催された全ての教育課程編成委員会等について、議事録に発言や意見内容を明確に記録した。  *※全ての教育課程編成委員会等について議事録に発言や意見内容が明確に記録されていない場合は×を記入。*  *※新型コロナウイルス感染症対策のために、当初昨年度開催予定だった会議を今年度へ延期し、かつ、すでに実施した場合、その会議についても本項目を判断すること。* |  |  |
| 昨年度に開催された全ての教育課程編成委員会等について、議事録を学科長又は学校長等の教育課程の責任者が内容を確認した。  *※全ての教育課程編成委員会等について、議事録を学科長又は学校長等の教育課程の責任者が内容を確認していない場合は×を記入。*  *※新型コロナウイルス感染症対策のために、当初昨年度開催予定だった会議を今年度へ延期し、かつ、すでに実施した場合、その会議についても本項目を判断すること。* |  |  |
| 実習、実技、実験又は演習：企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習の授業（以下「実習・演習等」という。）を行っていること | | |
| ●企業等と協定書等（覚書や契約書等を含む。以下同じ。）や講師契約等を締結して実習・演習等を行っている。 |  |  |
| ●実習・演習等の実施に加え、授業内容や方法及び生徒の学修成果の評価について企業等と連携している。 |  |  |
| ●学修成果の評価や単位認定にあたり、生徒が修得した技能を含む実践的かつ専門的な能力について評価を行っている。 |  |  |
| 総授業時数・単位数 |  |  |
| ●全課程の修了に必要な総授業時数が１７００単位時間以上又は総単位数が６２単位以上である。 |  |  |
| 教員の実務研修：企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。 | | |
| ●企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する知識、技術、技能を修得・向上するための組織的に位置づけられた研修・研究の機会を確保し、計画的に受講等させている。 |  |  |
| ●企業等と連携して、教員に対し、授業及び生徒に対する指導力等を修得・向上するための組織的に位置づけられた研修・研究の機会を確保し、計画的に受講等させている。 |  |  |
| 学校関係者評価 |  |  |
| ●学校教育法施行規則第１８９条において準用する同規則第６７条に定める評価（以下「学校関係者評価」という。）を行い、その結果を公表している。 |  |  |
| 学校関係者評価委員会：学校関係者評価を行うに当たっては、当該専修学校専門課程の関係者として企業等の役員又は 職員を参画させていること。 | | |
| ●学校関係者評価を行うため、企業等の役員又は職員その他必要な委員（保護者、卒業生等）により組織される委員会（以下「学校関係者評価委員会」という。）を設置している。  *※学校の教職員は、学校関係者評価委員会の委員となることはできないことに留意すること。* |  |  |
| 昨年度、学校関係者評価委員会を年1回以上開催した。  *※新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年度開催予定だった会議を延期している場合、自己点検結果に○を記入の上、必ず対応方針記入欄に、当初の開催日程及び延期予定について記載すること。* |  | 新型コロナウイルス感染症対策のため、当初令和元年度開催予定だった会議を延期している場合、本欄に以下事項を記入すること。  【当初の開催予定及び延期日程】  令和元年●月●日  ※新型コロナウイルス感染症対策のため●年●月に延期予定、又は、開催済み |
| ●「専修学校における学校評価ガイドライン（平成２５年３月文部科学省策定）」で掲げられた項目（教育理念・目的・人材育成像、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ募集、財務、法令等の遵守等）について評価を行っている。 |  |  |
| ●学校関係者評価の評価結果について、ホームページ、刊行物等への掲載などの方法により広く社会に公表している。 |  |  |
| 主体的な学校関係者評価を実施している。  *※学校関係者評価委員会の主体的な取組を引き出すため、学校側の教職員ではなく委員が委員長に就任するなどし、報告書の取りまとめ等において委員が意見を出し、取りまとめを行うなどの活動が期待されている。詳細は「全専各連『職業実践専門課程』指針」全国専修学校各種学校総連合会新学校制度創設推進本部（平成27年7月第2版）を参照。* |  |  |
| 教育情報の公表：企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。 | | |
| ●「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン（平成２５年３月文部科学省策定）」で掲げられた項目（学校の概要、目標及び計画、各学科等の教育、教職員、キャリア教育・実践的職業教育、様々な教育活動・教育環境、学生の生活支援、学生納付金・修学支援、学校の財務、学校評価等）について情報提供を行っている。 |  |  |
| ●ホームページ、学校要覧、パンフレット等の作成・配布、説明会等における説明、広報誌等の刊行物への掲載などを通じて恒常的に情報提供を行っている。 |  |  |
| 公開項目が目次立てしてあるなど、外部に向けてわかりやすく公開してある。 |  |  |
| 最新の別紙様式4を学校ホームページ等へ掲載している。 |  |  |
| 学校のホームページには、トップページから別紙様式4が容易に確認できるようにするとともに、印刷可能な方法により掲載している。  *※ホームページがない場合は企業、卒業生、保護者、地域住民等に対し刊行物等により別紙様式4の情報について広く情報提供しているかどうかを回答。* |  |  |

# 取組状況調査項目

|  |
| --- |
| * 以降では、認定要件と関連した貴学科での取組や工夫について、具体的にお伺いします。 * 特に取組がない場合は空欄でご提出いただいても結構ですが、今後のフォローアップの在り方を検討する上での重要な資料となるため、可能な範囲で取組状況をご回答ください。 * 取組の年度は指定しませんが、なるべく新しい取組を記載してください。 |

## 企業等と連携した教育課程の編成について

|  |
| --- |
| * 「企業等と連携した教育課程の編成」や教育課程編成委員会等に係る取組状況を記入してください。記入しやすいように記入欄の幅を変更等してください。 * 提出時には赤字の記載例を削除してください。 |

* 専攻分野に関する企業、団体等との連携体制を確保して、教育課程の編成を行うために、学内にどのような体制、プロセスを設けていますか。以下の記載例を参考にしながら具体的に説明してください（提出時には記載例を削除してください）。

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 取組内容の説明 |
| 教育課程編成委員会等へ諮る検討項目を決定するためのプロセス | 例）  まず、学科で検討項目の案を作成する。その後、必ず校長、副校長が内容を確認し、場合によっては議題の修正を行う。 |
| 教育課程編成委員会等の企業等の役員又は職員の委員から、教育課程編成の改善に資する具体的な意見等を引き出すための取組 | 取組の具体的内容：  例）  編成委員会の開催1か月前には、企業等委員に議題と関連資料を送付している。教育課程の一覧や学則、便覧を送付し、重点的に確認いただきたい部分について伝えている。 |
| 上記取組の効果、課題：  例1）  重点的に確認いただきたい部分を伝えているため、教育課程についての具体的な意見をいただくことができている。一方、委員からは個別企業の意見しか得られず、業界全体の動向を知ることは難しいと感じている。  例2)  事前の資料送付を十分に行うことが難しい場合があった。前日送付となってしまう場合もあり、委員の理解を十分に深めることができていない委員会もあった。その結果として、得られる意見が一般的な内容にとどまり、教育課程の改善につなげることができなかった。 |
| 教育課程編成委員会等での意見を議論する学内（法人内含む）の主な会議体の名前、簡潔な会議体の概要・役割  *※主要な会議体が3つ以上ある場合は2つまで選択し、説明してください。* | １．会議名：  概要・役割：  例）  会議名：学科の定例会議  概要・役割：認定学科内において、日常的な連絡事項を含め、学科の常勤教員が情報共有・議論等するために毎週開催している定例の会議。 |
| ２．会議名：  概要・役割： |
| 教育課程編成委員会等での意見を議論する学内（法人内含む）会議体の参加者属性  *※上記で記載した会議（最大2つ）のそれぞれについて記載してください。* | １．会議名：  参加者属性：  例）  会議名：学科の定例会議  参加者属性：学科長、学科の常勤教職員 |
| ２．会議名：  参加者属性： |

* 教育課程編成委員会等で得た意見を、これまでどのように活用してきましたか。代表的な反映事例について、以下の記載例を参考にしながら、具体例を挙げて説明してください（複数年度にまたがる取組を記載いただいてもよいですが、なるべく新しい取組を記載するようにしてください。また、提出時には記載例を削除してください）。

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 取組内容の説明 |
| 教育課程（カリキュラムの構成・内容、成績評価等）についての意見の反映事例（対象の教育課程の内容、教育課程編成委員会等での意見、反映の具体的内容について、それぞれ説明）  *※代表的な反映事例を1つ選択し、説明してください。* | 対象の教育課程の内容：  例）  対象の教育課程の内容：企業内実習 |
| 教育課程編成委員会等での意見：  例）  教育課程編成委員会等での意見：企業内実習の成績評価基準が担当者ごとに異なっており、評価を受けた生徒にとって納得しにくいものになってしまっているという指摘があった。 |
| 反映の具体的内容：  例）  反映の具体的内容：企業内実習開始前に、受け入れ企業の担当者を集めて説明会を開催し、その中で成績評価方法について説明を行った。 |
| 教育課程以外（生徒募集、生徒指導、学内イベント、就職支援等）についての意見の反映事例  *※代表的な反映事例を1つ選択し、説明してください。* | 対象の事項：  例）  対象の事項：就職支援（卒業生交流会） |
| 教育課程編成委員会等での意見：  例）  教育課程編成委員会等での意見：当学科では就職支援の一環で、企業で働く卒業生を招いて講演会を実施しているが、卒業後10年以上経過した中堅クラスの卒業生だけではなく、卒業後2，3年程度の若手も招聘すべきとの意見が出た。 |
| 反映の具体的内容：  例）  反映の具体的内容：翌年度の卒業生交流会には、卒業後2年目の卒業生を招聘した。 |
| 教育課程編成委員会等で得た意見を反映するための取組 | 例）教育課程編成委員会で得た意見を学科内で検討し、具体的な教育課程の変更案を取りまとめる。それを翌年度の教育課程編成委員会に報告し、委員の確認を受けた後、学校内に設置されている教育課程を議論する会議にかけ、審議の上、さらにその翌年の教育課程編成に反映している。 |

## 実習、実技、実験又は演習について

|  |
| --- |
| * 「企業等と連携した実習、実技、実験又は演習」（以降、実習等とする）に係る取組状況を記入してください。 * 貴学科での認定要件を充足するために設けている企業等と連携した実習等について回答してください。なお、企業等とは連携していないが、学外の講師（フリーランスの外部講師等）と連携して行っている実習等について、特筆すべき取組がある場合は3.5で回答してください。 * 記入しやすいように記入欄の幅を変更等してください。 * 提出時には赤字の記載例を削除してください。 * 取組状況を説明する上で、説明の根拠・補足となる資料については追加提出してください。補足資料の中で個人情報、企業等の機微情報、成績等の情報が含まれている場合必ず該当箇所を黒く塗りつぶしてください。根拠・補足資料の例は以下です。   + 例：ルーブリック様式、シラバス例、企業等への実習等マニュアル　等 * 追加資料によって説明を補足することはできますが、このシート内の記載事項で取り組みの概要を把握できるよう、簡潔な記述をお願いします。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 実習等の段階 | 取組内容の説明 |
| 実習等の企画・計画（準備）において、企業等と連携するための主な取組 | 例）   * 企業等から派遣された講師及び企業内実習における指導者（以降、企業等の講師等）に対して、学生の達成目標を具体的に伝えている * 実習・演習の指導計画を、企業等の講師等に直接説明している * 企業等の講師等に対して、指導してほしい事項を具体的に伝えている * 企業等の講師等に対して、学生の有する知識・技能等について具体的に伝えている |
| 実習等の教育的効果を確認するために、行っている主な取組 | 例）   * 実習等についても授業アンケートを実施している * 実習等協力企業にヒアリングやアンケートを実施している |
| 実習等の成績評価において、企業等と連携するための主な取組 | 例）   * 成績評価方法を、企業等の講師等に直接説明している * 成績評価の結果を企業等にフィードバックしている * 成果発表会を実施し、実習先企業を招いて講評してもらっている |

## 教員研修について

|  |
| --- |
| * 「専攻分野における実務に関する研修」に係る取組状況を記入してください。記入しやすいように記入欄の幅を変更等してください。 * 提出時には赤字の記載例を削除してください。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 取組内容の説明 |
| 専攻分野における実務に関する知識、技術、技能を修得・向上するための研修・研究に係る主な取組 | 例）  教員の実務面でのスキルアップや関連業界の動向を把握させるために、若手教員の一部を学校長が選定し、1か月程度企業に派遣する長期教員研修を毎年実施している。 |
| 授業及び生徒に対する指導力等を修得・向上するための研修・研究に係る主な取組 | 例）  教職経験の浅い新任教員等を対象に、インストラクショナル・デザインの研修を3か月間かけて受講させている。 |
| 上記の研修・研究の機会を教員が計画的に受講できるよう、行っている主な取組 | 例）  研修への参加率を向上させるために、長期研修については授業期間外に設定している。 |

## 第三者による評価等について

|  |
| --- |
| * 民間の評価機関等からの第三者評価等について、回答してください。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 取組内容の説明 |
| 第三者評価の有無 | 有・無（いずれかを選択。有の場合、以下項目も記載） |
| 評価団体 |  |
| 受審年月 |  |
| 評価の有効期間 | ○年から○年まで |
| 評価結果 |  |
| 評価結果の掲載URL |  |

## 職業実践専門課程として、特に工夫している事項について

|  |
| --- |
| * 職業実践専門課程として貴学科が特に工夫している事項や取組について、上記で記載したもの以外にあれば簡潔に記述してください。ない場合には、記載例を削除し、空欄のままとしてください。 * 3．取組状況調査項目の項目と同じものであっても、記述内容が異なる場合には記述いただいても問題ありません。 * 提出時には赤字の記載例を削除してください。 |

|  |
| --- |
| 取組名：  例1）学校関係者評価委員会  例2）業界の動向把握 |
| 取組概要：  例1）卒業生を委員としている。  例2）ホームカミングデーを設定している。そこで幅広い年代の卒業生を集めて、業界の動向について情報収集している。 |
| 取組のきっかけ、効果等：  例1）学校運営について率直な意見を聴取するため、卒業生を委員とすることが適切ではないかと考えた。実際に委員として卒業生に就任してもらってからは、教育課程や就職支援について率直な意見を受けることができ、具体的な学校運営改善につながっている。  例2）教育課程編成委員会だけでは、業界の動向を把握することが難しいため、関連業界に就職した卒業生から直接業界の動向を収集している。そこで得られた情報を活用することで、新しい就職先開拓などにつなげることができている。 |

（以上）